



- 新年のご挨拶… 2
- 一般・特別補正予算… 3
- 行政報告… 4
- 議案審議… 4～6
- 町政を問う～4 議員が一般質問… 7～10
- 委員会活動… 11
- 最上中生プレゼンテーション… 12
- 委員会報告… 13
- おらだの声… 14

**12月
定例会
3日~7日**

平成30年度の一般会計・特別会計

追加補正予算可決

補正額 1億9,507万円 総額 108億9,405万円

※7号補正及び8号補正を合算した金額となっております

一般会計(収入) (単位:万円)		
項目	補正額	合計額
地方交付税	3,439	26億2,687
負担金	274	9,299
使用料	▲110	8,998
国庫負担金	2,348	2億4,694
国庫補助金	738	1億7,292
県負担金	24	1億2,285
県補助金	979	1億7,795
県委託金	▲10	1,648
財産売払収入	▲350	1億194
寄附金	2,000	1億7,010
貸付金元利収入	47	1,376
雑入	1,343	4,537
町債	1,240	6億2,060
一般会計合計	11,962	44億9,875
補正後予算額		64億166

特別会計 (単位:万円)		
項目	補正額	合計額
国民健康保険	5,430	11億1,112
後期高齢者医療	0	1億1,144
介護保険	1,501	13億107
最上病院(収益収入)	0	11億3,756
介護老人保健施設(収益収入)	22	3億3,178
水道(収益収入)	463	2億6,918
瀬見温泉管理	114	1,321
下水道	15	2億1,703
特別会計合計	7,545	44億9,239

※千円単位は四捨五入 ※▲はマイナス

総合計	1億9,507	108億9,405
-----	---------	-----------

12月定例会は、12月3日から7日までの5日間の日程で行われました。上程された全12議案を慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案どおり承認されました。また、一般質問には4名が登壇し町政をただしました。

最上町立東法田小学校・みつわ幼稚園
閉校記念式典・思い出を語る会



▲東法田小学校・みつわ幼稚園 閉校記念式典

主な予算を増額へ

一般会計 ※千円単位は四捨五入

○ふるさとみ応援寄付金	2,999万円	○小中学校 学校管理費	621万円
○公共道路改良費	500万円	○農業用施設災害復旧費	4,137万円
○ウェルネスプラザ運営費	416万円	○小規模農地等災害緊急事業補助金	327万円
○冷暖房設備設置工事請負費	2,187万円	○水道事業特別会計繰出金	264万円

新年、明けましておめでとうございます。皆様方には、平成から次の元号に変わる「時代の大きな節目」となる2019年、新たな年をそれぞれ特別な想いを持って迎えられたものと推察致します。平成の時代の30年を振り返れば、バブル崩壊に始まり、失われた20年と言われた経済の停滞期を経た今日、当町にあつても人口が減少し、特に少子化はそれぞれの地域に大きな陰を落としております。我が町の5年後10年後は何を行うべきか、何を行うべきでないのかを峻別し行動しなければならぬもの、意を新たに致している所であり、先んき不透明なこの時代、

〈新年のご挨拶〉

最上町議会議長 菅 俊郎

謹賀新年



本年も宜しくお祈りいたします

町民の皆様方には何卒さらなるご指導、ご支援賜りますようお願いを代表し、心からお祝い申し上げますとともに、迎えた新年が災害のない平穏な一年となりますようご祈念し、年頭の挨拶と致します。



議員 伊藤 一雄

副議長 石原 英一

議長 菅 俊郎

議員 佐澤 浩

議員 佐藤 義男

議員 菅 征悦

議員 宮本 浩

議員 尾形 勝雄

議員 二戸 守

議員 大沼 正視

議員 渡邊 英俊

議員 橋本 正



防災無線

問 情報無線事業の施設移設工事費等200万円増額の要因は？

答 現在、町には防災行政無線のマス目が58本あり、年間を通じての保守管理において、薬師原地区のマス目に気象状況による故障が生じたり、鶴杉地区のマス目の移設工事において、現場状況に合わせた工事が求められたことによるものです。

若者定住環境モデルタウン

問 モデルタウンの熱供給状況は？

答 熱供給の燃料として、木質チップを基本にしな

がら細かい調整をペレットで対応していく考えでしたが、現在はペレットの利用比率が高くなっています。メーカーに問い合わせながら、日常の細かい変動にもチップポイラーで耐えられるような設定調整を行っています。

ふるさと納税

問 返礼品が伴わない災害に対する寄付件数はどのくらいあるのか？

答 今回の補正において、ふるさと納税全体としては、当初8500万円の目標額を1億7000万円に引き上げています。そのうち8月の豪雨災害に対する寄付件数は88件200万円程の寄付額になっています。このご寄付をしっかりと復旧復興に結びつけていきたいと考えています。

ウェルネスプラザ

問 ウェルネスプラザ施設燃料代415万円の内訳は？

答 当初予算での重油燃料単価は74円でしたが、4月に85円、6月に92円、最近では95円まで値上がりした影響と夏の猛暑により、エアコンの需要が増え燃料代の増額となりました。

育成医療給付

問 未熟児養育医療と身体障がい者育成医療の内容は？

答 生まれただかりの子供が2000グラム以下の新生児に対して、国・県・町の助成による入院治療が未熟児養育医療になります。また、生まれながらにして障がいがある子供に対しての手術育成医療になります。

流雪溝整備

問 流雪溝整備の進捗状況と今後の整備箇所は？

答 整備した地区は13地区で進捗率は30%になります。今後は事業化になった部分として月楯・若宮法田・瀬見を順次整備していく計画です。

赤倉内水面对策

問 赤倉の内水面对策の排水ポンプの稼働状況は？

答 機器の不具合によって常時稼働したことで電気料が増加しました。また、河川への排出口に土砂が溜まり、機能しなかったこともあり、県に要望し土砂撤去をお願いしています。町事業で内水面の水が低い所に集中しないようにする工事を行っています。

災害復旧

問 災害復旧工事の進捗状況は？

答 農林災として冬期間の工事と来春からの農作業に間に合うよう集落の代表者等と打ち合わせを密に行っています。

また、農林災(国庫)補助事業は12月5日で災害査定が終わっていて、建設(国、県)の※災害査定も近く終了する予定です。

査定が終わった箇所から、実施設計を行い随時工事を発注していきます。

※「災害査定」とは？…P13「教えて議会」にて詳しく説明

小学校に冷房設備

問 小学校の冷房設備設置の内容は？

答 国の補助を受けて、冷暖房エアコンを向町小



▲台湾へのトップセールス

国際交流

問 国際交流推進旅費とは？

答 台湾の宜蘭県から教育旅行を招致するため、現地でのPR活動を促進するための旅費です。

前森高原

問 交流施設修繕費281万円はどここの修繕費なのか？

答 前森高原内の施設に供給している水道の減菌器が劣化したため修繕を行うものです。



▲大堀小学校 授業風景

問 統合が予定されている富沢小学校・赤倉小学校については？

答 統合までの1年間も快適に教育を受けられるように、仮設の冷房設備を考えています。

学校・大堀小学校の特別支援教室も含め普通教室に、合わせて17基の設置を予定しています。



町政を問う

4 議員が一般質問

若者定住という町の施策支援についての考え方は？



橋本 正 議員

町長答弁 企業立地と定住促進は、スピード感をもって推し進めていきます

答弁 義務教育課程の上と学びの習得と合わせ

質問 最上に残りたい高校生が一度は進学等で町を出ても戻ってきて仕事ができる環境をどのように作っていくのか。又、今高校生は広域化しております。最上町にだけということではなく新庄市を含む1市7町村、広域行政として取り組むべきと考えます。働く職場の確保など、どう考えておられるのか所見を伺います。

て、小中高合同のボランティアに見られるような世代を超えた地域貢献活動にも取り組んでおり、子供たちの健やかな成長と共に逞しさも育成されてきております。新庄北高最上校の生徒を対象とした町内の「企業見学ツアー」を実施しています。担い手となる高校生に地元企業を知ってもらうために開催しており数多くの意見が寄せられています。又、最上管内8市町村・企業74社・新庄商工会議所・ハロワワークで組織する「最上地区雇用対策協議会」において地域内企業との情報交換・就職面談等を広域的に展開しております。継続的でより効果的な手法を検討して参ります。

質問 婚活に携わる地域おこし協力隊員との今後の連携についてお聞きします。

答弁 婚活支援は、若者がこの町で暮らし続けるための基盤となるものです。「最上町総合戦略」においても、婚活・出産・子育て支援の充実を掲げ「ハッピーサポーター推進協議会」と連携を図っております。隊員の任期終了後も起業しながら結婚相談事業を継続していくと表明されており、引き続き積極的に総務省の制度を活用しながら応援して参ります。

最上町には婚活に特化した活動を展開している地域おこし協力隊員がおります。3年の任期を終えて離任されるとお聞きしました。隊員が離任したあとの婚活事業をどのように進めていくのか、お伺いします。

「起業支援」の相談に乗れる人材の手立てについては町農林課・農協・生産組織と連携し、商工業関係は、もがみ南部商工会が窓口、六次産業化については町産業振興センターと商工会が連携して相談に乗っております。国や県の補助対象にならない部分や、スタートアップを応援する事業も前年度の実績をベースに構築しております。



▲最上校 企業訪問の様子

医療スタッフの充実

問 医師や看護師が募集してもなかなか集まらない中、少ないスタッフで一定量以上の仕事をしなければならぬ。重圧感や過労に結びつき、負の連鎖にならないか心配である。いかがですか？

答 業務の見直し等を図りながら取り組み、適正人数を確保していきたい。

問 医師や看護師の確保について町長はどのように考えているのか？

答 処遇改善を図るとともに自信と誇りを持てるような職場環境を目指します。

介護サービス

問 地域密着型介護サービス給付費の増額の内容は？

答 小規模多機能型居宅介護として、ふれあいの里さくらと大堀の小規模多機能もがみが該当し、通所・訪問・宿泊介護のサービスを提供しています。冬期間宿泊介護の利用者の増加が見込まれることから増額をしております。



▲医学生へ向けた体験ツアー

水道民営化

問 国で審議されている水道事業の民営化に対する町の考えは？

答 県内の水道事業は県内4ブロックに分けて、広域連携として検討されておりますが、町では現状通り単独で行ってまいります。

瀬見温泉せみの湯

問 共同浴場内に設置する事になっているシャンプー等の自動販売機はどうなっているのか？

答 どのような形で設置すればよいのか現在調査中であり、まだ設置していません。

問 せみの湯の利用客数はどうなっているのか？

答 10月までは昨年の1.9倍に伸びています。これからも利用客数を増やすために力を入れていきます。

平成31年 1月 臨時議会

1/15 (火)

災害復旧事業1億1200万円
ふるさと納税3300万円 補正

問 工事を発注するにあたり県工事も含め復旧が進むように行う必要があり、農地については災害箇所も多く、春の農作業に支障がないようにできるのか？

答 今回は災害の箇所が多いことから他町村とも連携を図り、県へも働きかけを進めて参ります。また農地については春作業に支障が出ないよう万全の体制で工事を進めていきます。



▲立小路 鳥出川の災害

問 ふるさとがみ応援寄付金の現在の総額は？

答 現在1億7000万円を超えており、前年実績は8100万円でしたので2倍以上の伸びを示しております。

統合による教育環境をどのように考えているか？



尾形勝雄議員

町長答弁 担任支える支援員など3人の増

質問 町では30年度の月橋小学校から始まり、東法田・富沢・赤倉の各小学校が向町小学校に統合が進められますが、統合で増える子どもたちに対応した教育環境と先生方の働き方対策について伺います。

答弁 小学校の統合に際して、配慮すべき事項としては、まず複式学級を含む少人数の集団で学んできた児童の皆さんが、20人から35人程度のクラスに加わることとなりますので、一日

も早く多人数での学習活動に適応し、仲良く安心して学校生活が送れるよう努めてまいります。そのため、統合する前から学校間交流活動を重ね、統合先となる向町小学校の環境や同年となる児童に慣れ親しんで頂く機会を作ってまいります。

町として、受入校である向町小学校の教員の負担増にならないように集団不対応の未然防止、迅速な初期対応や授業における個別支援のための教育支援員など、担任をサポートする職員として3人の配置をはかってまいります。

また、登下校時、通路のセキュリティ対策について、全国で今年に入りいたましい事件・事故が発生しており、町では交通安全以外の防犯的視点から9月に新庄警察署立会のもと、町内2箇所



▲向町小学校 登校の様子

また、登下校時、通路のセキュリティ対策について、全国で今年に入りいたましい事件・事故が発生しており、町では交通安全以外の防犯的視点から9月に新庄警察署立会のもと、町内2箇所

を最上町に置き換えて、点を面にする企画力、情報発信の仕方、産学官民の連携を図っていきます。

また、「定住促進策」の一環として、今年度、町で取り組んでいる「関係人口創出事業」をはじめ、「空き家等対策計画」を策定しながら移住定住受入協議会も設立しながら町の魅力をしっかりと磨き情報発信を行ってまいります。今後更に都市部との交流を進めることで、「U-Jーターン」に結びつけていきたいと考えています。

交流人口拡大に新たな取り組みは？



宮本浩議員

町長答弁 情報を効果的に発信・活用する

質問 観光客数が伸び悩んでいるが、今後の更なる交流人口の拡大策は？

答弁 一昨年は「せみの湯」今年度は「おくのほそ道赤倉ゆけむり館」を設置しましたが、近年の主要観光地の入込客数は80万人に届かない状況です。このことは町の観光資源となっている既存施設の老朽化への対応や近年の旅行ニーズとのズレも要因ではないかと思われまます。これらの解決には「魅力をつくり磨く」「つながりをつ

質問 伸び悩む「友好会員制度」の見直しや新たな取り組みが必要ではないか？たとえば、岐阜県飛騨市の「飛騨市ファンクラブ」の取り組みでは、全国で初めて会員証に電子マネーの仕組みを導入し、利用額に応じてポイントが貯まるだけでなく、0.1%が企業から自治体に企業版ふるさと納税として税収にもなります。また、北海道の東川町では、株主制度としてふるさと納税と一緒にしている取り組みもありました。

答弁 多くの先進事例を挙げてもらいました。こういった事例



▲友好会員証と情報誌

質問 「絆大使」を担っている方の活動を町民にも分かるようにすべきでは？

答弁 サッカー交流は、大会等で県外から3000人以上が訪れ宿泊して頂いております。サッカー場の整備にはサッカーくじ助成金を活用していきたい。これからは、老朽化した公共施設の維持管理が大きな課題です。空き校舎の活用も検討しながら交流人口の拡大と魅力づくりに努めていきます。

質問 「人工芝サッカー場」などのスポーツ施設整備や子どもが遊べる屋内遊具施設整備にも力を入れて取り組んで欲しいが？

委員会活動

産業厚生常任委員会

「超高齢化社会に対応した 遊休施設の活用」について

11月13日・14日の2日間に渡り調査研
修を実施しました。

栃木県塩谷町船生地区での空き家を活用
した高齢者サロン「寄ってらっせ」の女性
有志による運営の取り組みを研修しました。

2日目は千葉県南房総市千倉町七浦地区
で取り組んでいる、廃校を医療と暮らしの
拠点に再生した「七浦プロジェクト」の実
践状況を研修してまいりました。



▲栃木県塩谷町 寄ってらっせ



▲千葉県南房総市 七浦プロジェクト

総務文教常任委員会

「統廃合による空き校舎の有効活用」 について

全国の自治体における共通課題の政策調
査として、人口減に伴い各公共施設の再利
用を進める町の活性化を図るため小学校の
利活用について検討をしてまいりました。

来年度は東法田小、平成32年度には富
沢小・赤倉小が向町小に統合となるため今
後の利活用について、11月14日から群馬
県下仁田町(旧青倉小)と静岡県伊豆市(旧大
東小)を訪問して、空き校舎の有効利用に
ついて調査・研修をしてまいりました。



▲群馬県下仁田町 自然史館



▲静岡県伊豆市 ナチュラルキッチン

職員は住民プロフェッショナルであれ

町長答弁 住民密着型の政策を行う

質問 政策形成プロセスにおける参画機会の保障、つまり手続きの公平性は、重要な前提でありますが、加えて職員に求められるものは「翻訳力」イコール複雑な制度の本質をかみくだき相手の立場に則して説明できる力であります。職員を育てる最良のコーチは、地域であり住民であります。役場の仕事を交えるのは容易な事ではないが、職員が地域とつながり住民から顔の見える存在になれば「住



佐澤 浩 議員

答弁 議員言われる通り自治には、住民合意が基盤としてなければならず、合意に基づいて対策を講じ、その対策を支える予算措置等が適切に行われなければなりません。町が求められる行政の姿勢として重要なのは、自治協働のまちづくりであります。言われる通り、町の職員が地域の期待に応えられる存在に一層近づくための、プロとしての意識向上と共に、研鑽を通じた対応力の向上も求められていくものであります。職員自ら、担当する集

民から見たら「こうです」と自信をもって言えること、それが「住民プロフェッショナル」であり、その勇気と説得力こそが、いま最も必要とされていると考えますが、いかがか？

り自治には、住民合意が基盤としてなければならず、合意に基づいて対策を講じ、その対策を支える予算措置等が適切に行われなければなりません。町が求められる行政の姿勢として重要なのは、自治協働のまちづくりであります。言われる通り、町の職員が地域の期待に応えられる存在に一層近づくための、プロとしての意識向上と共に、研鑽を通じた対応力の向上も求められていくものであります。職員自ら、担当する集

落や地域の声を聴くためには、その中に飛び込んでいかなければなりません。いろいろな意見をくみとり、どんな町づくり、どんな政策が必要か総合的に判断できることが、議員の言う正に翻訳力かと思えます。職場の中の協力体制の構築と、ゆとりを持って地域や集



建設課職員 災害現場

有効であると認識しておりますので、今後も、そのようなキッカケを増やそう努めてまいります。

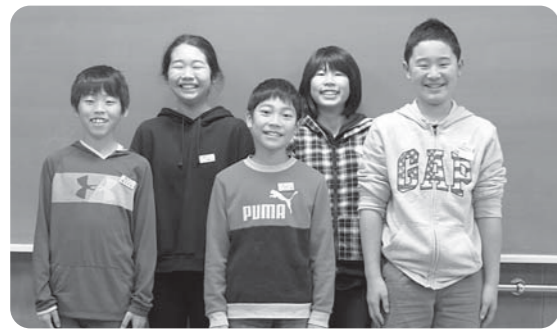
請願について審査しました

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
「種子法廃止」に伴う万全の対策を求める請願	農民運動山形連合会 会長 小林茂樹 最北地方農民連 会長 二戸 正	尾形 勝雄	産業厚生 常任委員会	不採択

【不採択理由】…山形県議会9月定例会で「山形県主要農作物種子条例の制定」が議決されており、その条例の中で「県の責務」及び「財政上の措置」が明記されております。請願事項については解消されるものであり、改めて請願を採択する必要はないものと考えます。

※種子法とは？…農家の生産、販売活動に大きな役割を果たしてきた法律で、今回の改正により農家は特許料を払わなければ種子が使えなくなることが懸念される。

富沢小学校6年生の皆さんが 議会傍聴に来てくれました！



この度は大変お忙しい中、議会を見学させていただき、本当にありがとうございます。子ども達はどのようにして町のことを決まっていけるのかを知ることができ、とても有意義な時間となりました。本当にありがとうございました。(富沢小学校)

教えて議会!?

議会のしくみ、用語を分かりやすく解説



Q1 災害査定とは？

A 災害復旧工事に伴う事業費を国が自治体に支援するにあたって、国が被害の程度を確認し、申請された復旧工事に必要な工法や費用が適正なものであるかを現地で査定するもので、農業用施設であれば農林水産省、河川や道路であれば国土交通省といった所管省庁の査定官に財務省の立会官が同行する形で行われます。

Q2 昨年8月に起きた豪雨災害の査定の状況は？ (8/5~6・8/30~31合わせて)

- A
- 農林課【農林災害】
8件 (農業用施設6件・農地1件・林道1件)
 - 建設課【公共土木施設災害】
21件 (河川13件・町道8件)
- 順次、復旧工事が行われる予定です。



災害から → 復旧へ!



▲大堀 白山橋 (被災時)



▲大堀 白山橋 (復旧後)



▼上横川 浪沢線 (被災時)



▲上横川 浪沢線 (復旧後)

昨年8月に50年に一度と言われる二度の大雨により町内では400箇所以上で災害が発生しました。我々町議会も県・国に対し二度、災害復旧に対する要望活動を行い早期復旧に向け取り組んでおります。



最上中生 町を プレゼンテーション

「言しよう」をテーマに、今年度からの実践として最上中3年生の総合学習発表会が開催されました。町の諸課題(特産物開発、子育て・福祉、観光・イベント)について、21グループによる解決方策を提案するスタイルの発表で、中学生ならではの視点や手法も随所にみられ、「地域を変えよう、活性化させよう」という気概が伝わってきました。色んな課題に対し直接話を聞いたり、子育て支



12月11日「自援等については100名を超える保護者の方々の分ちの考えを導いたり、小学校からの継続した総合学習の集大成と呼ぶにふさわしい取り組みでした。この学習が積み重なり深まることで、将来は政策提言にまで発展・進化することを期待しております。



柴崎 郁恵さん [向町]

自営業

「つなぐ役目」

今、最上町では災害や人口減少による学校の統廃合。目まぐるしく変化していく毎日に考え迅速に対応しなければならないことが山積みで、先々を考え不安や寂しさを口にすることが自然と増えてしまっている気がします。

先々も、もちろん大切ですが、こんな今だからこそ、立ち止まり、振り返ることも大事にしたいと思います。

地域の皆さん、学校の先生方、保護者の皆さん、子ども達。私たちが今日まで当たり前のように笑顔でやってこれた事は、同じように次の世代を担う子ども達へつないでいかなければいけないことだと心に決めています。

その為に、笑顔には笑顔がかえってくる。苦しい時、悲しいとき、心がつながらないとき、そんな時も上を向いて笑顔で前を向いて「つなぐ」役目をはたして行きたいと思います。

お
ら
だ
の
声

編集発行 / 山形県最上郡最上町議会広報編集委員会

最上町役場 / 山形県最上郡最上町大字向町644

http://mogami.tv

議会の主な動き

10月16日 県町村議会議長会 議員研修会

山形国際交流プラザにて、首都大学東京准教授の山下氏から「限界集落の真実～人口減少時代における地域再生」、フジテレビ報道局上席解説委員の平井氏から「政治・経済の展望」をテーマに講演をしていただきました。



11月11日 東法田小学校・みつわ幼稚園 閉校記念式典

明治15年に東法田学校として開設された後、昭和37年に東法田小学校として独立し、長きにわたり東法田地区の文化の中核を担っていただきました。



11月12日 最上小国川流水型ダム堤体 コンクリート打設完了説明会

平成24年度より進められている工事は、今回、堤体部コンクリートの打設が完了し、来年度中に完成する予定です。



※誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

議会傍聴へのご案内

次回の定例会は 3月 定例会です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

議会インターネット配信

今定例会の視聴回数 のべ 364回

議会傍聴者数 のべ 46人でした



QRコード

過去の定例会、一般質問も町のHPからご覧になれます

編集後記

▽平成の時代も幕を閉じようとしております。

平成とは「地平天成（地平かに天成る）」から「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味であります。しかし、振り返れば（災いの多い）激動の時代でありました。平成のその先には何が待ち受けているのか。

「先に見える時代」どのような時代であっても現実を直視し、皆さんと共に知恵を出し、切り開いていかなければなりません。先祖が乗り越えてきた道があるように、どんな難難辛苦にも立ち向かう勇氣と決断力で自らの力を振り絞り、「明日を築いていきたい」その年頭に誓うものであります。

皆様方にとりまして素晴らしい一年であります様に。

(佐澤 浩)

【発行責任者】

議長 菅 俊郎

【広報編集委員会】

委員長 二戸 守

副委員長 尾形 勝雄

委員 石原 英一

委員 佐澤 浩

委員 橋本 正

委員 宮本 浩